

成年向



黒本
-BlackBook-



かみ かみ かみ

反乱分子が誰か
なぞ私は知りません

アイリス
私はね君に本当のことを
喋って欲しいんだよ
嘘、偽りのない
言葉を聴きたいんだ

それより私にたいして
こんな扱いをして
よいのですか？
軍上層部が黙って
いませんよ

それについては
話がついている
安心してくれたまえ

なッ

キミはね軍に切られた
んだ彼らの力をあてに
するのはあきらめたまえ

それより話を戻そうか
君から真実を聴きだす
なんて造作もないんだ

薬物、拷問
我々国家保安省の
やり方は知ってる
だろう？

ならさっさと
行使なされば
どうですか？





その為ならどんな
躰だってしよう
例えその過程で
キミに軽蔑された
としても

クソッこんな下種に
いいようにされるとは

それが国家のため
となるんだから

流石のアイリスも
久々の生チンポには
悲鳴を上げてしまったか

ひやあああああ





いぐうッ

くそお家族を殺した
下種のザーメンを
中に注がれるなんて

キミのマンコの
せいで私のチンポは
ドロドロだ
しっかりキレイに
してくれたまえ

それと反抗的な態度は
やめておきたまえ
私に危害を加えた場合
キミの中隊がどうなるか
頭の良いキミならわかるね

うぐッ



下種のナニまで
舐めさせら
れるとは

最悪の気分だ

さああ口を
大きく開けて

口だけじゃなく
舌も使って
キレイにするんだ

ご褒美だ
口にも一発
くれてやろう

なかなか飲み込みが
いいじゃないか

ここで私が
倒れるわけには
いかないんだ

飲めアイリス

こぼさず
飲み干すんだ



さてこれから
本格的な尋問を
始めるわけだが

キミは1〜6なら
どの数字が
好きかな



少佐殿
私は7が好きですね

そうかなら
例外的に
7番目を作って
やろう

なッ

ううううッ

ほう流石だな
悲鳴を上げないとは

これは尋問ゲームだ

⑤

1〜6どこかに
穴を開ける
決めるのは
サイコロだ

②

③

④

⑦

⑥

聞いたことに正直に
答えればそんな
酷いことは
しないですむ

それにしても
素直に1〜6で選んで
いれば穴は六つで
すんだのにな

では第一問
キミの初オナニーは
いつかな?

コロ



そんなことを聴いて
どうすッ

ヒギイッ

キミは質問に
答えるだけで
いいんだ

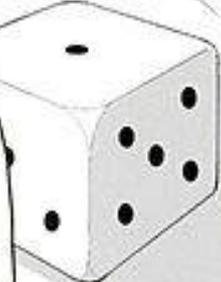
コロ

そんな質問に
意味は
ないでしょう

やめッ

コロ

初オナニーは?



いやあああああ

では続けて

14んだ14の
時に初オナニー
をしました

これくらい
喋っても
かまわん
生き残るためだ

そうだアイリス
偉いぞその調子で
どんどん答えれば
穴はこれ以上増えん

ようやくアイリスの
悲鳴を聞いたな
さすがにクリトリスに
ぶっさ刺れるのは
きついな



ふう〜
結局七箇所全て
空けてしまったか

それでもまだ
反乱分子に
ついて喋らん
とは頑固だな

わあ〜



知らないモノは
ハアハア
答えられません

まああそれでも
キミの初潮や初セックス
ファーストキスなど
いろいろプライベートな
話は聴けて面白かったよ



では質問を変えよう
反乱分子どもの目的は何だね

何を聴かれても
知らないものは

くっ

いぎやあああああ

いぎいいいい
どべれえええ

凄いな一発で
あのアイリスが
小便までもらすとは

相当辛いようだね
そのピアスには
電撃を流す仕掛けが
あってね

嘘を吐くと
電撃が流れる

いつまでキミが
耐えられるか
楽しみだよ

アイリス

さてもうキミに
拘束は不要だろう

どべれええ

3.0しゅう





ダメだ
全身が痺れて
指一本動かさせない

電撃はかなり辛いだろ
なんせ局所に直接流れる
んだからね

もうやめろ

もう聴くな

そうはいかない
キミが喋ってくれるま
でやめるわけには
いかないんだ
私も心苦しいよ



反乱分子の
目的は何だ

そ...それは

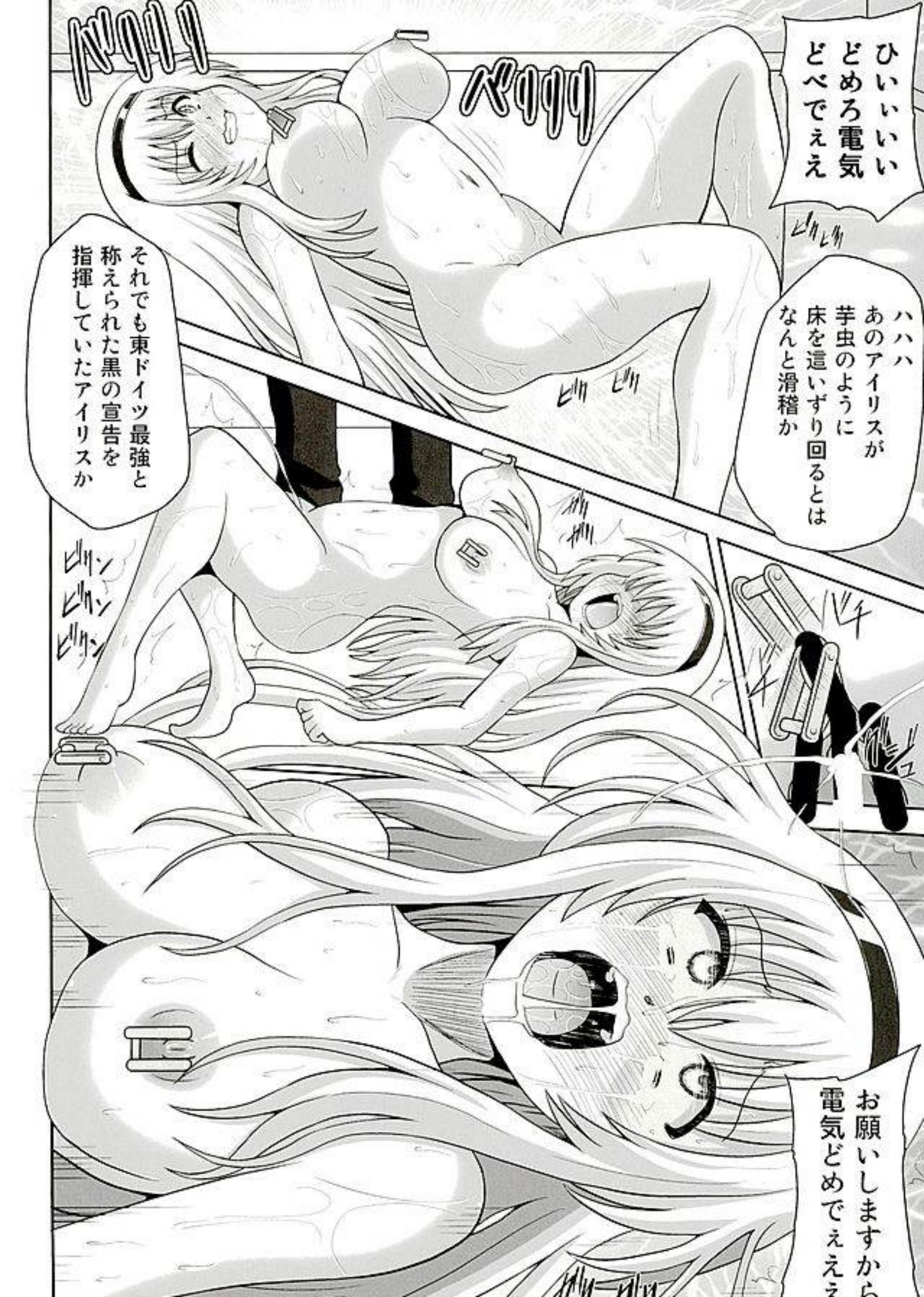
いぎやああああ

ひいひい
どめろ電気
どべでええ

ハハハ
あのアイリスが
芋虫のように
床を這いずり回るとは
なんと滑稽か

それでも東ドイツ最強と
称えられた黒の宣告を
指揮していたアイリスか

お願いしますから
電気どめでえええ





絶頂した

どうして？
気持ち良かった

ふざけるな
相手は家族を殺した
国家保安省だぞ

電気がいやなら
ケツをこっちに向ける

は…はい

悔しいけど電気は
ダメだあれはいやだ
今は耐えろ
耐えればかならず

かなり良かった
みたいだねアイリス

ち…違う良くなんて

なら電気責めが
いいのかな

素直でよろしい
ようやく犬
らしくなってきたな

ではアイリス
尋問を
続けようか

気持ちいい
憎いはずの男のチンコが
こんないいなんて

ダメダメなの
感じる感じちゃ

あひいいい
入ってくりゆうう

熱くてたくましい
モノが私の中に

たまらないだろ
それが雌犬のサガだ

それで
反乱分子の
目的は

飼い主のチンポには
絶対逆らえんのだよ

そ…それは

ひぎやあああ

とべでえええ
電撃を止めてくださいやい

びしびし

なら言いなさい
チンポ気持ちいいと

チンポ気持ちいい
チンポ気持ちいい

ご主人様のだ

ご主人様の
チンポ気持ち
れしゅう

ちんこ気持ちいい

電撃ダメエエエ

オチンポ
ぎぼちいいです
から電撃止めて

ご主人様の
おチンポ凄く
気持ちいい
れすから

おチンポ気持ちいい

アイリス選ぶんだ
気持ちいい日々と
いつまでも続く
電撃責めの日々
どっちが良い

ひいいい死ぬ
こんなの死んじゃう
いやだ死にたくない
こんなところで

私の犬になれば
この苦痛からすぐに
開放してやれるんだぞ

ひぎいひぎい

東から逃がすことです
それが目的です
多くの東ドイツ人を
生き伸ばすために

フフフフハハハハ
良く言ったアイリス
今日からキミは私の雌犬だ

めいっばい
かわいがって
やるからな

お尻

こうして幾つか
の情報をついた
アイリスだったが
肝心の共謀者たちについて
は一切を語ろうとせず

「知らない」
「私は知らないんだ」
の一点張りだった。

ここまで強情だと
呆れを通り越し
一種の尊敬の念
する抱いてくる。
しかし、共謀者を話すまでは
やめるわけにはいかない。

そこで私は大変心苦しいが
さらなる尋問をアイリスに
実施するのだった。



とりあえず穴という穴をフサイ
でみたチンポなどという甘い
サイズではなく
鍛え上げられた男たちの
ぶっ太い腕でだ。



体は自由を奪うために
手足をコンクリで固め
人間椅子になってもらった

すぐに気を失うので
その度に私がムチを
振るう

意味の無い悲鳴を
上げるばかりで
効果はいまいちだった

慰安任務にも付いて貰った
飢えた男たちに一ヶ月間
輪姦させ続けた
当然、睡眠も食事も無し
あたえたのは最低限の栄養剤と
精液のみだ。

「チンポもつと

チンポミルクちょうらい
アイリスのマンコに
チンポツッコんで」

今は質問をしても返事は
こればかりいつまでも
強情なアイリスに
私は苦笑するのだった

もう少ししたら薬物を投与して
国家の犬として性格を
再構築しなくてはいけないな



黒いモノ